

ジョルディ・サヴァール & エスペリオンXXI

ルネッサンス & バロックのダンスと変奏 ～旧大陸、そして新大陸から～

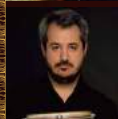
Jordi Savall & Hespèrion XXI Renaissance & Baroque DANCES & VARIATIONS From the Old and the New World



シャビエル・ディエス＝ラトーレ
ビウエラ、ギター
Xavier Díaz-Latorre
Vihuela & Guitar



アンドルー・ローレンス＝キング
スペインのバロック・ハープ
Andrew Lawrence-King
Baroque Spanish Harp



ダビド・マヨラル
パーカッション
David Mayoral
Percussion

ジョルディ・サヴァール
音楽監督 / ヴィオラ・ダ・ガンバ (ソプラノ)、バス・ヴィオール
Jordi Savall
Viola da gamba soprano, 7 String Bass viol & Direction

世界の至宝、古楽界最大のカリスマ
奇跡の再来日

Program

ルイス・デ・ミラン

幻想曲と舞曲：エル・マエストロ（ヴァレンシア、1536年）より
幻想曲VIII - 幻想曲XXXVIII, バヴァーナ1 - ガリャルタIV

トバイアス・ヒューム

音楽の諧謔（ロンドン、1605年）より
ヒューム大尉のバヴァーナ - ガイヤルド、兵士の行進

カタルーニャ地方の民謡（作者不詳、J. サヴァール編）
アメリカの遺言、糸を紡ぐ女

フランセスク・ゲラウ

ボエマ・アルモニコ（マドリッド、1694年）より
エスパニョレタスとフォリア

ミューズの涙（ロンドン、1604年）より

ジョン・ダウランド：いにしへの涙
アントニー・ホルボーン：ミューズの涙、妖精の円舞

スペインの舞曲とグロサ

アンニオ・デ・カベソン：バヴァーナとそのグロサ（フォリア）
ジョアン・カバニリエス：序曲、イタリアのコレンテ

フランスにおけるスペインのフォリア

マラン・マレ：フォリアに基づくクブレ

新しい曲集（アルカラ・デ・エナレス、1557年）より

ルイス・ベネガス・デ・エネストロサ：カベソンの幻想曲

スペインのエア（1614年）より

アンリ・デ・バイリー：私の名は狂気

スコットランドのパイプと新世界

摂政殿のラント - モイラの君主 ホーンパイプ

サンティアゴ・デ・ムルシア

サルディバル写本（メキシコ、1720年頃）より
ガリシアのフォリア - イタリアのフォリア、
舞曲「狂気の蜜」

2023年 **10月31日[火]** 19:00開演 (18:15開場) **三鷹市芸術文化センター風のホール** 三鷹市上連雀6-12-14

チケット発売日 マークル会員 2023年6月1日[木] / 一般 6月8日[木]

料金 (全席指定) マークル会員 S席 5,400円・A席 4,500円 / 一般 S席 6,000円・A席 5,000円
O-70 (70歳以上/A席限定) 4,500円 / U-23 (23歳以下/A席限定) 3,500円

プレイガイド

- **三鷹市芸術文化センター** *発売初日は以下の方法で午前10時から発売を開始し、窓口販売はございません。
電話予約 チケットカウンター **0422-47-5122** (10:00 - 19:00 / 月曜休館・月曜が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)
インターネット予約 <https://mitaka-art.jp/ticket/> *事前登録(無料)が必要となります。*携帯電話からの場合、座席は自動採番です。
- **イープラス** <https://eplus.jp>

主催・お問い合わせ **公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団 0422-47-5122**

後援 カタルーニャ州政府文化庁 / ラモン・リュイ研究所 / 駐日スペイン大使館 / セルバンテス文化センター東京



公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団
Mitaka City Sports and Culture Foundation

Jordi Savall & Hespèrion XXI

ジョルディ・サヴァール
音楽監督 / ヴィオラ・ダ・ガンバ (ソプラノ)、バス・ヴィオール
Jordi Savall
Viola da gamba soprano, 7 String Bass viol & Direction

シャビエル・ディエス=ラトーレ
ビウエラ、ギター
Xavier Díaz-Latorre
Vibuela & Guitar

アンドルー・ローレンス=キング
スペインのバロック・ハープ
Andrew Lawrence-King
Baroque Spanish Harp

ダビド・マヨラル
パーカッション
David Mayoral
Percussion



新型コロナウイルスが世界中を覆った2020年の夏、自身が高齢なこともあり「もうアジアへは行くことはない」と宣言した、サヴァール。しかし、日本からの度重なる問いかけに応じて再来日を許諾。「自分に残された時間は残り少ない」とこの秋、5年半ぶりとなる来日が決まりました。

スペインの巨匠中の巨匠で世界最高峰の古楽器奏者、ジョルディ・サヴァールが2018年以来5年ぶりにエスベリオンXXIと共に風のホールに登場します。エスベリオンXXIはイベリア半島を中心とした地中海の音楽や新大陸に繋がる音楽遺産を新たな解釈に基づいて演奏し、さらには西洋と東洋との結びつきも探求。その音楽の守備範囲の広さから、古楽やクラシック音楽のみならず、ワールド・ミュージックのファンからも熱狂的な支持を得ています。

ルネサンスとバロックの舞曲と変奏曲をテーマに据えて、

旧大陸と新大陸、南北ヨーロッパ、芸術音楽と口頭伝承による音楽などから編まれた今回のプログラムは、時代やジャンルをダイナミックに横断するサヴァールならではのもの。異なる文化や伝統の間に架け橋を渡し、音楽を通して対話を試みること—この試みは、必ずや今を生きる人々に力強く、希望の光を感じさせるメッセージを残すことでしょ。

今回の公演は、スペイン大使館ほかの全面協力で実現するものです。今年82歳を迎えるサヴァールと仲間たちが繰り広げる音楽物語をお楽しみください。

ジョルディ・サヴァール Jordi Savall

50年以上にわたって活躍してきた極めて多才な音楽家。無視され忘れ去られた数々の音楽を救い出し無数の人々に伝えてきた。古楽のあくなき探求者であり、ヴィオール奏者として、また指揮者として演奏を続けている。演奏家、教師、研究者、新たなプロジェクトのクリエイターとしてのその業績は計り知れない。公私ともにパートナーであった声楽家の故モンセラート・フィゲラスとともにエスベリオンXX (1974年、現エスベリオンXXI)、ラ・カペラ・レイアル・デ・カタルーニャ (1987年)、ル・コンセル・デ・ナシオン (1989年) を設立し、世界中の数えきれぬ古楽ファンと感動と美の世界を共有、探求、そして創造してきた。

アラン・コルノーの映画『めぐり逢う朝』のサウンドトラックではセザール賞を受賞。年間140回もの多忙なコンサートや年6枚ものレコーディング、そして1998年にモンセラート・フィゲラスとともに設立した自身のレコード会社「アリア・ヴォックス」などの活動を通じ、古楽がエリート主義ではなくあらゆる年齢の多数の聴衆にアピールすることを証明してみせた。評論家アラン・コズインはサヴァールの膨大なコンサートとレコーディングに関して2005年ニューヨーク・タイムズ誌に「単なるリバイバルではなく想像力に満ちた再生」と書いた。

中世、ルネサンス、バロック、古典のレパートリーを網羅した、またヒスパニックと地中海の音楽に焦点を当てた合計230枚以上のディスクをリリースし、フランス・ミデム賞、国際クラシック音楽賞、グラミー賞などの賞を多数受賞してきた。その活発な演奏活動及び録音企画は、音楽を異なる民族や文化、あるいは戦争状態にある人々に相互理解や平和をもたらす仲介役となつてゐる。事実サヴァールはアラブ、イスラエル、トルコ、ギリシャ、アルメニア、アフガニスタン、メキシコ、北米の音楽家たちなどをゲストとして迎えている。2008年、異文化間の対話のための欧州連合大使に、またユネスコ親善大使「平和のためのアーティスト」に任命された。

その活動によりエヴォラ大学 (ポルトガル)、パルセロナ大学 (カタルーニャ)、ルーヴェン大学 (ベルギー)、バーゼル大学 (スイス) からそれぞれ名誉博士号を授与されているほか、フランス政府のレジオンドヌール勲章、ニーダーザクセン州ブラエトリウス音楽賞、カタルーニャ州ゴールドメダル、ヘレナ・バズ・ダ・シルバ賞、そして音楽界のノーベル賞といわれるレオニー・ソニング賞を受賞するなど国内外より高い評価を受けている。

エスベリオンXXI Hespèrion XXI

ジョルディ・サヴァールが故モンセラート・フィゲラスらと共に1974年にスイス・バーゼルで設立し、現在は活動拠点をスペイン・パルセロナに置く古楽演奏集団。エスベリオンは、西の空に浮かぶ金星を表す古代ギリシャ語のエスベリア (西方)、ラテン語ではイタリア半島及びイベリア半島に暮らす者を意味した言葉に由来する。21世紀の訪れとともにグループの名称はエスベリオンXXからエスベリオンXXIになった。

10世紀から18世紀頃の特に地中海の音楽や新大陸に繋がる音楽遺産をレパートリーとしており、東洋と西洋の新たな結節点を探索し続けている。主要なものとしては、セファルディ (スペイン、ポルトガル系ユダヤ人) の音楽、カスティージャのロマンス (物語音楽)、スペイン黄金世紀とヨーロッパ諸国の音楽などが挙げられる。コンサート・プログラムで高い評価を得ているものには、「アルフォンソ10世賢王編纂 聖母マリアのカンティガ集」、「セファルディの離散」、「エルサレム、イスタンブール、アルメニアの音楽」ならびに「クリオリーオのフォリア」などが含まれる。

現在、エスベリオンXXIは、中世からバロック時代の音楽の理解を深めるに欠かせない中核的な存在となっている。作品や楽譜、楽器そして未発表の資料などを発掘し、歴史的知見に多くの新たな情報と理解をもたらした貢献は計り知れない。彼らは徹底的に革新性と芸術性を追求し、実験的な取り組みも行いながら、設立当初より当時の音楽を深く理解し、新たな息吹を吹き込み続けている。その比類なき表現は、古楽界における一つの流派として際立った存在となっている。



@MusicMitaka (公財) 三鷹市スポーツと文化財団・音楽部門の公式Twitterです。ぜひこの機会に「フォロー」をお願いします!

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます。

口座番号: (ゆうちょ銀行) 00190-5-569156
加入者名: 三鷹市芸術文化センター

*「払込取扱票」の通信欄に(予約番号)をご記入ください。

*普通郵便の場合84円、簡易書留ご希望の場合404円を加算してお振込みください。
*振込手数料はお客様のご負担になります。
*お振込み後、10日程度でチケットをお届けします。

PARTNER

本公演のチケットまたはチケット半券で三鷹駅周辺の「チケットパートナーショップ」の特典が受けられます! <https://mitaka-sportsandculture.or.jp> *サービス有効期間は公演日から7日間

託児あり

本公演には託児サービスがございます。

対象: 1歳~未就学児 定員: 10名 (要予約)
料金: お子様一人につき500円
お申込み: 2023年10月17日(火)までに
三鷹市芸術文化センターへお申込みください。
Tel: 0422-47-5122

財団友の会「マークル」会員募集中!!

一般発売日より前に
会員先行予約があります。 MARCL

*年会費2,000円
*チケットの優先予約・割引 (1公演2枚まで)、
ポイントの還元 (ご利用額の5%) 情報誌の送付、
チケットの無料送付 (口座会員のみの)。



三鷹市芸術文化センター

181-0012 三鷹市上連雀6-12-14
Tel: 0422-47-5122

JR 三鷹駅南口2番バス乗り場から
「八幡前・芸術文化センター」下車すぐ。
または6・7番乗り場から「八幡前」下車1分。
または徒歩約15分。

*公演の内容等は、やむを得ず変更となる場合がございます。 *公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払戻し、交換はできませんので、何卒ご了承ください。 *2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。
*未就学のお子様は入場できません。また、危険防止のため、小学生のお子様は、2階正面席最前列はご遠慮ください。 *お車でのお来館はご遠慮願います。